

議案質疑

全議案に対する質疑は、12月10日に行われ、4人の議員が17項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

県西総合病院の筑西市民の利用状況と本市からの負担金について

質疑 県西総合病院に対する負担金の金額と、同病院を利用する本市の外来及び入院患者数はどのくらいか。また、公立病院の使命について尋ねたい。

答弁 【健康増進部長】 県西総合病院の構成市は本市と桜川市であり、19年度の負担金は、桜川市が2億3,759万余円、本市が6,834万余円、20年度は、桜川市3億2,541万余円、本市9,672万余円である。筑西市民の同病院の利用状況については、18年度入院患者数が10,101人、外来患者数が18,470人（明野・協和地区のみ）、19年度入院患者数が7,494人、外来患者数が17,434人である。また、公立病院の役割は地域に必要な医療のうち、採算性等か

ら民間医療機関では提供が困難な医療を提供することと考える。そのため、市民病院への補助金や出資金、県西総合病院へは負担金を支出し、地域医療の充実に努力しているのご理解賜りたい。

電算システムの改修について

質疑 今回法律の改正に伴い市税・国民健康保険及び介護保険事業でも電算システムの改修が必要となり、約6千万円の委託料が予定されている。本市の電算システムは市独自のシステムで改修費が割高である。これらの改修に伴う交付税措置額及び市の負担額を尋ねたい。また、他市との費用の比較を尋ねたい。

答弁 【税務部長】 税務関連のシステム改修の見積額と財源について、住民税金特別徴収に係る収納システム改修費1,

人事紹介

県西総合病院組合議会 議員の補欠選挙

県西総合病院組合議会議員に1名の欠員が生じ、補欠選挙の結果、次の議員が当選されました。

仁平 正巳 議員

教育委員会委員の任命に同意

筑西市教育委員会委員のうち1名が欠員となったため、次の方の任命に同意しました。

豊崎 功（新任）

昭和16年5月21日生

筑西市みどり町一丁目13番2

陳情

次の陳情は、12月定例会までに受け付けたものです。なお、継続審査になつていた陳情第1号及び意見書の提出を求められている陳情第3号は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、12月15日の本会議で次のとおり議決されました。

▲陳情第1号 「地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見

書提出」に関する陳情（採択）
▲陳情第3号 現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求め陳情（採択）

請願

今定例会に上程された請願1件は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、12月15日の本会議で次のとおり議決されました。

▲請願第3号 歴史民俗資料室の開設に関する請願（採択）

意見書

議員提出による意見書案4件は、12月15日の本会議において原案のとおり可決されました。この意見書は、同日付で政府及び関係機関に送付されました。

▲地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書

▲現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

▲JR不採用問題の早期解決を求める意見書

▲地方議会議員年金制度に関する意見書

230万円、寄附金税制改正に伴う市民税システム改修費981万余円及び法人市民税改正に伴う市民税システム改修費289万余円は通常の税制改正のため一般財源である。また、住民税公的年金特別徴収に係る市民税システム改修費1,430万円(20年度2,550万円)は2力年の継続事業で、うち交付税算入額は標準団体(3万9千世帯)で2,200万円の予定である。他市との比較については、システムの形態が県内市町村で異なり、単純な比較は難しい。茨城計算センターを利用している市町村は約73%で、費用は168万円から580万円である。富士通システムを導入しているのは県内では本市と龍ヶ崎市のみである。契約の段階で経費節減に努力していくのでご理解賜りたい。

【健康増進部長】 国保関連について、高齢受給者(70〜75歳未満)の自己負担割合の緩和措置の延長(2割負担者が暫定的に1年間1割負担となる期間の更なる1年間延長)と、後期高齢者医療保険移行時における高額療養費の負担限度額改正に伴うシステム改修費208万余円は、大半がシステムエンジニアの人件費であり、財源については全額国庫補助の予定で

ある。他市との比較については、下妻市・結城市は無料、桜川市は約60万円、龍ヶ崎市は本市とほぼ同額、牛久市は325万円である。契約に当たっては、できる限り経費の圧縮に努めるのでご理解賜りたい。

【福祉部長】 介護保険関連は、介護保険システム改修費2,614万余円と賦課徴収システム改修費618万余円である。前者は大半がシステムエンジニアの人件費で、残りがパッケージソフトのバージョンアップ代である。後者は併徴者期割変更対応費と仮徴収変更処理仕様変更作業費である。財源は、パッケージソフトのバージョンアップ代のみ国庫補助が30万円、残りが一般財源である。他市との比較については、結城市44万円、下妻市63万円、桜川市57万余円、本市と同じ富士通対応の龍ヶ崎市は、2,900万円である。契約の締結に当たっては、安価になるよう努力するのでご理解賜りたい。

給水人口及び有収水量をふやす方法と少量使用家庭の見直しは怎么样了か

水道事業は、毎年多額の工事を実施しているが、給水人口と有収水量が伸びない。給水人口と有収水量をふやす具体的な

方法を尋ねたい。今回の水道料金の改定では、基本水量10㎡以下(少量使用家庭)の改定は実施されなかった。見直すとのことだったが、どうなったのか尋ねたい。

【上下水道部長】 給水人口が伸びない理由は、本市の場合給水世帯は増加しているが、世帯当たりの人口が減少しているためと思われる。有収水量が伸びない理由は、住民の節水意識や給水人口の鈍化、地下水利用者が多い等が考えられる。現在の水道普及率は約89%であり、給水区域の拡

大や有収水量の増加を図ってみたい。また、少量使用家庭に対する料金の見直しについては、基本料金は水道を常時使用可能とするための経費で、水の使用量にかかわらず使用者に負担していただくものである。基本料金を下げた場合、その下げた部分が超過使用者(10㎡以上の使用者)の負担となり、かつ、単年度赤字の確保や累積欠損金の解消が不可能となるため、今回は改正できなかったものでありご理解賜りたい。

新・水道料金 (平成21年4月1日施行)

給水装置	給水管の口径	基本料金(月)	超過料金			
			11㎡から20㎡まで	21㎡から50㎡まで	51㎡から100㎡まで	101㎡以上
専用 共用	13mm	10㎡まで 1,890円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	20mm	10㎡まで 1,995円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	25mm	10㎡まで 2,100円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	30mm	20㎡まで 4,620円		1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	40mm	20㎡まで 4,830円		1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	50mm	50㎡まで 12,600円			1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	75mm以上	50㎡まで 13,125円			1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
特別(一時使用・プール・水まき)		1㎡につき 220.5円				
特別(公衆浴場)	100㎡まで 8,001円	1㎡につき 94.5円				